『身近な地域で活躍を目指す「障がい者スポーツ指導者」や「ボランティア」の養成について』

スポーツ・健康福祉研究部門 責任者 山崎昌廣 副責任者 河野喬 加地信幸

平成30年11月26日(月)、本学広島坂キャンパスにおいて、立命館大学産業社会学部現代社会学科・教授の金 山千広氏を講師としてお招きし、本学教職員と学生を対象とした私立大学研究ブランディング事業《スポーツ・健康 福祉研究部門》の公開講座を開催した(図-1)。

公開講座は、本学教職 員、及び学生の対人援助技 術の向上に活かすことを目 的として実施した。講師の金 山教授からは、身近な地域 で活躍を目指す「障がい者ス ポーツ指導者」や「ボランティ ア」の養成についてご講演い ただいた(写真-1、2、3)。

講演では、ご自身の研究 分野でもある、障がい者スポ ーツの環境や、スポーツに おけるインクルージョン、ア ダプテッド・スポーツのマネ ジメントについて、分かりや すくご講演いただいた。前半 は、ボランティアとして活動 することの多い障がい者スポ ーツ指導員について、ボラン ティアの定義や心得などに ついて説明を交えながらお 話があった。途中、ご自身の 障がい者スポーツ実践のう ち、プール指導に携われた ご経験からのお話もあった。 また、ワークシートを使った 演習もあり、受講者は周囲の 者と新たな障害者スポーツ種 目を考案したり、互いにほめ ることの大切さを学んだりす る等、指導者としての創造力 やコミュニケーション力の大 切さを実感することができ た。

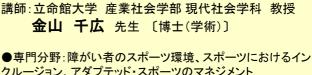
文部科学省「私立大学研究ブランディング事業 (スポーツ・健康福祉研究部門)」



公開講座

ドランティア」の養成について

広島文化学園大学が採択された文部科学省「私立大学研究ブラン ディング事業」におけるスポーツ・健康福祉研究部門の公開講座として、 立命館大学の金山千広先生をお招きし、貴重なお話をいただきます。



- クルージョン、アダプテッド・スポーツのマネジメント
- ●委員歴:日本アダプテッド体育・スポーツ学会理事、日本体育 学会代議員
- ●著書:新版障がい者スポーツ指導教本初級・中級(ぎょうせい、 2016)、図とイラストで学ぶ一新しいスポーツマネジメント(大修 館書店、2016)他
- ●論文:公共スポーツ施設と障がい者のサービス品質評価: インクルージョンの段階にみた施設の特徴(立命館産業社会論 集50号第1巻、2014年)他

™ 平成30年11月26日(月)

13:05~14:35

会場 広島文化学園大学 広島坂キャンパス 2309教室 (広島県安芸郡坂町平成ヶ浜3-3-20)





広島文化学園大学 広島坂キャンパス

申し込み方法 kaji@hbg.ac.jp まで、メールでお申し込みください。 氏名、勤務先(学校名)、メールアドレス、電話番号を ご記入ください。

主催: 広島文化学園大学 対人援助研究センター「スポーツ・健康福祉研究部門」 問い合わせ: 広島文化学園大学 広島坂キャンパス 082-884-1001(代) 担当者: 加地信幸(人間健康学部 スポーツ健康福祉学科) E-mail:kaji@hbg.ac.jp

図-1 スポーツ・健康福祉研究部門の公開講座(案内)

受講した学生からは、「講演で学んだ専門的な知識と技能や連携する力、良いところを見つけて称賛する姿勢など、これらを将来に活かして一人でも多くの人に笑顔で社会に復帰する支援ができる人になりたいと思った。」「講演会では先生の話を聞くだけですぐに時間が経ってしまった。自分の経験を大切にしながら、これからも HBG はなまるキッズのボランティア活動を頑張っていきたい。」「新聞紙やペットボトルをどのように遊び道具にするかを考える演習では、日常にある物でどのようにして遊ぶかを考え、柔軟な発想が大事だと思った。」などの感想が寄せられた。本公開講座を終え金山教授からは、対人援助者として必要な力として、①専門的に指導する力、②ほめることができる力、③普及、進行する力、④連携する力、⑤認め合い高め合う力等が重要であることを学ぶことができた。本公開講座では、対人援助者として必要な知識について学びなおすことのできた貴重な機会となった。ご講演いただいた金山教授に心から感謝の意を表したい。



写真―1 金山先生による講演の様子



写真—2 金山先生から障がい者スポーツ指導者について 学ぶ受講生の様子



写真―3 ワークシートを使って 受講生とやり取りされる金山先生